

公民館だより 平成24年 1月号

西部

発行:西部公民館 館長 高地勝司
主事 大西光則
電話:26-4925 FAX:25-6029
事務所:田辺市高雄一丁目23番1号
市民総合センター内



新年のご挨拶

西部公民館

新年明けましておめでとうございます。
平素は、公民館活動にご理解とご協力を賜っていますこと、改めて心から感謝を申し上げます。

皆様方には、益々お元気で、希望溢れる年となるよう、ご祈願をいたします。

さて、昨年の西部公民館は、田辺第三小学校とともに西部地域共育コミュニティ本部を立ち上げ取り組んでまいりました。その活動を振り返ると、地域に軸足をのいた形で、着実に事業展開が図れてこれたと思います。

6月12日には本部会議を発足し、そのあと、環境教育専門委員会、防災教育専門委員会、学力向上専門委員会をそれぞれに立ち上げ、計画についての議論をかわしてきました。

皆様もご承知のとおり、昨年は西部コミュニ

ティ本部発足時期が遅れたため、思い描いていたような事業実施ができませんでした。しかし、地域に軸足を置くという観点から、西部地域共育コミュニティ本部と西部町内会連絡協議会との連絡体制が整ったことから、これからの運営においては、ご協力をいただきながら事業を展開していけるものと思います。

西部公民館は、本年も生涯学習をとおして、地域の皆様方と交流を深め、「西部地域に住んでよかった、これから住み続けたい」と思われるような西部地域を目指し、精一杯取り組んで参りますので、ご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

西部公民館から作品展示のお知らせ

田辺第三小学校では、地域の皆様方が学校に気軽に寄って頂ける学校づくりを目指しています。そのための取組みの一つとして、12月は橘香予子さんからお借りした墨絵を展示しました。引き続き、1月は橘香予子さんの押し絵を展示する予定となっておりますのでお楽しみ下さい。

田辺第三小学校では、不審者対策のため、正門及び裏門を閉めています。下記の所から出入りができますので、ご自由にお立ち寄り下さい。

【引き続き西部地域の皆様方の作品を募集していますので公民館までご連絡下さい。】



正門口



橘香予子さんの墨絵

西部地域共育コミュニティ本部だより(5) 西部公民館/田辺第三小学校

新年明けましておめでとうございます。本年も西部地域共育コミュニティ本部は、更なる事業の展開に着手していきたいと思っておりますので、地域の皆様方のご協力よろしく申し上げます。

環境教育専門委員会

環境教育専門委員会では、昨年の12月8日に第2回環境教育専門委員会を開催しました。

本年2月14日には、紀南の自然や文化の保護向上に尽力した「人」に焦点をあてた学習(熊野本宮世界遺産センター)へ6年生児童と保護者、地域住民がそれぞれの視点から世界遺産センターを見学し学習する予定です。

現地へは、大型バスと福祉バスをチャーターする予定です。この取り組みで、紀南の自然や文化を再認識し、児童と地域住民が共に学習できる場が提供できればと思っています。

当見学は、バスを利用しますが、児童はもちろんのこと地域住民の座席も多数確保する予定です。



防災教育専門委員会

防災教育専門委員会では、昨年の11月7日に第2回防災教育専門委員会を開催いたしました。

8月28日に行われた田辺市防災訓練の反省を受け、西部地域として、防災は重要な取り組みのひとつであるとの意見が多く、24年度、25年度と継続的に取り組む方向となりました。

その内容を受け、西部町内会連絡協議会の3役会や11月23日には、西部町内会連絡協議会及び西部地区自主防災会連絡協議会が参集している場に、コミュニティ本部役員(本部長、副本部長、公民館主事)が出席し、コミュニティ本部事業の進捗状況の説明や西部地域の防災訓練を継続的にやりたい旨のお願いをし、ご了承いただきました。



学力向上専門委員会

学力向上専門委員会では、昨年11月8日に第2回学力向上委員会を開催いたしました。

その会議の内容では、昔遊び会や昔の暮らし、ミシン実習をコミュニティ本部として取り組むことになりました。その中でどうしても学校支援ボランティアが必要不可欠だという結論に至り、学校だよりや公民館だより、育成会発行(うへの山)など、地域住民に広報、周知徹底のためにご了承いただきました。

また、本年度は、先進地視察も予定するなど、西部地域共育コミュニティの更なる向上と発展に力を注いでいきたいと思っています。



まちづくり市民カレッジ「ボランティア活動と地域づくり」

「東日本大震災は田辺市のまちづくりに何を問うのか!」をテーマに、様々な分野の第一線で活躍されている研究者などを講師に招き、これからの田辺市の安全・安心なまちづくりを考えます。

日時 1月22日(日)13時30分~16時30分

場所 ひがしコミュニティセンター「大集会室」

内容 報告「台風12号災害の被災地支援に関わって ~和大ボランティア団体FORWARDの活動を通じて~」

講師: FORWARD(和歌山大学の院生、学生によるボランティア団体) 酒井 豊 氏

講義「災害救援ボランティア活動が地域にもたらしたもの」

講師: 渥美 公秀 氏(大阪大学大学院人間科学研究科教授)

対象 市内にお住まいの方

申込み 直接、会場までお越しください。

問合せ 生涯学習課 生涯学習推進係(0739-26-4908)

西牟婁郡第56回田辺市第51回小 中学校音楽会に3年生と6年生が 出場しました。

11月17日、紀南文化会館において、西牟婁郡第56回田辺市第51回小中学校音楽会が開かれました。午前の部には、本校3年生が出演して、合奏「TAKUMI/匠」（ピアノ伴奏：古久保宇紅さん）合唱「太陽のサンバ」を披露しました。午後からは、6年生が出演して合奏「ウィリアムテル序曲」と合唱「いつまでもこのままで - 天神崎の四季 -」（ピアノ伴奏：中井樹さん）を披露しました。どの学校も人数の多い少ないにかかわらず工夫のある立派な演奏、合唱をおこない、盛大な拍手が送られていました。



学校開放週間に大勢のご参加ありがとうございました。

11月7, 11, 12日の学校開放週間には大勢の皆様においでいただき誠に有難うございました。

7日には、1, 2年生保護者の給食試食会を、12日には、全国3位の実力を持つ明洋中学校体操部の演技会もおこないました。来年も趣向を凝らして開催したいと考えております。



清心自立

田辺市生涯学習フェスティバルでリサイクル委員会が発表してきました。

11月26日、「田辺市生涯学習フェスティバル2011」が田辺市民総合センターを会場に開かれました。その中のイベントである「環境を考える市民の集い」に本校のリサイクル委員会が招待され、子どもエコクラブとして活動報告をしてきました。

本校では、10年来、リサイクル委員会が、空き缶、ペットボトル、トレイや古紙などのリサイクル活動を続けており、学校が地域のリサイクル品回収場所になっています。最近では、学校の児童や保護者だけでなく、近隣の地域の方々もリサイクル品を持ってきてくださいます。高学年の靴置き場の横が回収場所になっているのですが、皆さんきれいに洗って持ってきてくれるので、まったく臭いがありません。有難うございます。

西部地域共育コミュニティ本部では、このリサイクル活動を地域に広めて、できるかぎりゴミを出さない、そして住みやすい地域づくりを推進していきたいと考えております。

今後ともご協力をよろしくお願いいたします。



新年明けまして（辰年） おめでとうございます

平成24年が明けました。皆様には穏やかなお正月をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は本校の教育活動に際しまして、ご支援ご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年も本校が飛躍の年になりますよう、よろしくお願い申し上げます。

二学期の後半は、研究発表大会・2年生の職場体験学習や県新人大会・吹奏楽部のプロムナードコンサート等があり、それ以後も、県駅伝大会や文化発表会・講演会など大きな行事がたくさんありました。保護者や地域の皆さんには、生徒たちの活躍の様子等を見ていただき、誠にありがとうございました。

県駅伝大会結果[11/20：紀美野町]・・・大躍進の駅伝部
男子9位（参加45中学校内）1:02:34 *昨年度12位
女子6位（参加45中学校内）45:15 *昨年度17位

文化発表会では、弁論発表、職場体験学習発表、英語発表、合唱、PTAコーラス、ブラスバンド演奏、演劇「棄権(キケン)」など、生徒たちが日頃の教育活動で学んだことや積み上げてきたことを発表しました。午後の上田二郎先輩の講演「努力は嘘をつかない」のお話は、明洋中の生徒だけでなく、会場の皆さんをも魅了しました。

作品展示では、生徒や職員の作品の他、保護者の方にも出品をしていただきました。参観の方からは「各作品の出来が素晴らしい」と好評をいただきました。上田二郎氏による講演会の生徒感想を少し紹介します。

講演「努力は嘘をつかない」の生徒感想

努力とやる気があれば、その頑張りはずっと自分に返ってくることを改めて教えられました。

チャンスは身近にあるのか、偶然に訪れるのかわからないけど、いつでもチャンスをつかめるように、日頃からの努力を大切にしたいです。

クラブでも勉強でも、努力をすることが大切だということがわかりました。また、目標に向けて頑張る過程も大切だということがよくわかりました。

ずっと2番手だったけど、努力を続けて球界を代表するエースになったことがすごいと思いました。

3学期を迎えて

いよいよ仕上げの3学期が始まります。3年生は2ヶ月間、1・2年生は2ヶ月半の短い学習期間となります。その間に、3年生は自分の進路決定という、これまでの人生経験の中で、最も大事な時期を迎えます。これからの明洋生の頑張りや底力を期待しています。

毎年、あっという間に過ぎ去る3学期ですが、それだけに、生徒たちには心して1年間の反省や締めくくりをさせ、次の新しい上級学年に自主性と自律心をもって進めるよう支援していきたいと思っております。